

① ベーシックコース

教材コード	講座名	CPD 単位	講師	概要	シラバス コード
E061490	サステナビリティ総論と公認会計士に期待される役割	1.5	水口 剛 (高崎経済大学) 和貝 享介 (和貝公認会計士事務所 / 東京エレクトロン(株) 社外監査役) 藤本 貴子 (日本公認会計士協会) 森 洋一 (日本公認会計士協会)	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティに関する基本的な概念 企業経営・投資家行動とサステナビリティ サステナビリティに関して公認会計士に期待される役割 	Ba1
E061520	サステナビリティと経営・ガバナンス～持続的な価値創造にどうつなげるか?～	1.5	井垣 勉 (オムロン(株)) 井口 譲二 (ニッセイアセットマネジメント(株)) 森 洋一 (日本公認会計士協会)	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティを企業経営・ガバナンスに組み込むに当たってのポイント・アプローチと、企業経営者・役員が果たすべき役割 	Ba2
E024530	サステナビリティ開示と統合報告～グローバル議論と最新実務から課題を見出し、将来を展望する～	1.5	小森 博司 (国際サステナビリティ基準審議会) 池畑 勇紀 (アセットマネジメントOne(株)) 増田 典生 (株日立製作所 / 一般社団法人 ESG 情報開示研究会) 森 洋一 (日本公認会計士協会)	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ開示に関するグローバル基準設定の狙いと今後の方向性 サステナビリティ開示と統合報告の現状と将来展望 	Ba3-1
E024540	気候変動に関する情報開示～気候変動の開示実務を価値創造につなげるには～	1.5	高村 ゆかり (東京大学未来ビジョン研究センター) 菊池 勝也 (東京海上アセットマネジメント(株)) 小林 英樹 (三菱地所(株)) 鶴野 智子 (日本公認会計士協会)	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動の最新の科学的知見と国内外の政策動向 気候変動に関する開示基準の内容と制度化の動向 気候関連開示の実務や課題、将来展望 	Ba3-2
E024880	人権・人的資本と情報開示	1.5	名越 正貴 (EY 新日本有限責任監査法人) 清野 恭平 (金融庁) 峯村 佳典 (日本公認会計士協会)	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスと人権の関わり 我が国における人的資本の開示制度及びその背景 海外における人的資本及び人権に関する開示義務化の動向と開示基準 	Ba3-3
E037070	サステナビリティ保証シンポジウム 2025 我が国におけるサステナビリティ保証業務の今後の展望～ISSA 5000 の策定を受けて	3.0	Tom Seidenstein (国際監査・保証基準審議会) Josephine Jackson (IAASB) 野崎 彰 (金融庁) Isabelle Tracq-Sengeissen (EY Global / CNOC Auditing standard board) Sebastian Dingel (Dipl. Inf. / Deloitte GmbH) 熊谷 五郎 (公益社団法人 日本証券アナリスト協会 / 東京大学金融教育研究センター) 小林 いずみ (ANA ホールディングス(株) 社外取締役 / 株式会社みずほフィナンシャルグループ 社外取締役 / オムロン(株) 社外取締役) 関口 智和 (有限責任あずさ監査法人) 太田 稔 (日本公認会計士協会) 甲斐 幸子 (日本公認会計士協会)	<ul style="list-style-type: none"> 国際サステナビリティ保証基準 (ISSA) 5000 の基準開発 諸外国の実務 我が国における高品質なサステナビリティ保証業務の確立に向けて 	Ba4 ※1
E037520	サステナビリティ情報の信頼性確保と保証 (概要)	0.5	太田 稔 (日本公認会計士協会)	<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ保証のニーズと国内外の状況 監査において考慮すべきサステナビリティ関連事項 	Ba4 ※1
後日配信	サステナビリティ情報の信頼性確保と保証 (概要) ～国際サステナビリティ保証基準 (ISSA) 5000 「サステナビリティ保証業務の一般的要求事項」の概要等～	0.5	太田 稔 (日本公認会計士協会)	<ul style="list-style-type: none"> 保証業務の概要 国際サステナビリティ保証基準 (ISSA) 5000 の開発経緯、特徴等 	Ba4 ※1

※1 Ba4 は3 研修あり、以下のいずれかのパターンで受講する。

- ① E037070「サステナビリティ保証シンポジウム 2025 我が国におけるサステナビリティ保証業務の今後の展望～ISSA 5000 の策定を受けて」
- ② E037520「サステナビリティ情報の信頼性確保と保証 (概要)」及び「サステナビリティ情報の信頼性確保と保証 (概要) ～国際サステナビリティ保証基準 (ISSA) 5000 「サステナビリティ保証業務の一般的要求事項」の概要等～」

② コアコース

教材コード	講座名	CPD 単位	講師	概要	シラバス コード
後日配信	サステナビリティ開示・保証 制度の概要 ※3/6 開催予定	1.0	伊藤 洋平 (金融庁)	<ul style="list-style-type: none"> 有価証券報告書におけるサステナビリティ情報の開示と保証制度 	Ad3-1
E024770	気候変動への対応と開示	1.5	杉井 威夫 (環境省) 森 洋一 (日本公認会計士協会)	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動戦略の立案と温室効果ガスの報告 サステナビリティ開示基準案 (IFRS S2、SSBJ 気候開示基準案) の解説 	Ad3-2
E024890	温室効果ガス排出量の算定	1.5	山田 洋平 (有限責任監査法人トーマツ)	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス (GHG) 排出量 (スコープ 1～3) の算定基準 スコープ別の算定方法 	Ad3-2
E012560	サステナビリティに関する IESBA 倫理規程について	2.0	山田 雅弘 (日本公認会計士協会)	<ul style="list-style-type: none"> IESBA (国際会計士倫理基準審議会) 倫理規程改訂の概要 	Ad4-1-1 ※2
後日配信	IAASB ウェビナー #1 Foundational Principles and Concepts (日本語通訳版)	1.5	Josephine Jackson (国際監査・保証基準審議会 (IAASB)) Dan Montgomery (IAASB) Claire Grayston (IAASB)	<ul style="list-style-type: none"> 国際サステナビリティ保証基準 (ISSA) 5000 の基本概念と概要 	Ad4-2-2
後日配信	IAASB ウェビナー #2 Engagement Planning, Risk Assessment & Response (日本語 通訳版)	1.5	Josephine Jackson (IAASB) Jamie Shannon (IAASB) Neil Morris (IAASB) Susan Jones (IAASB)	<ul style="list-style-type: none"> 国際サステナビリティ保証基準 (ISSA) 5000 における計画 ISSA 5000 におけるリスク評価 手続及びリスク対応手続 	Ad4-2-3
後日配信	IAASB ウェビナー #3 Concluding and Reporting on Sustainability Assurance Engagements (日本語通訳版)	1.0	Neil Morris (IAASB) Claire Grayston (IAASB) Kazuko Yoshimura (IAASB)	<ul style="list-style-type: none"> 国際サステナビリティ保証基準 (ISSA) 5000 におけるサステナビリティ保証業務の結論の形成 	Ad4-2-4
<p>2026年秋頃までを目途に順次実施予定</p>				<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ開示基準の解説 	Ad3-1
				<ul style="list-style-type: none"> 改正倫理規則の概要 	Ad4-1-1 ※2
				<ul style="list-style-type: none"> 改正品質管理基準報告書第1号 及び第2号の解説 	Ad4-1-2
				<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ保証業務実務 指針 5000 の解説 	Ad4-2-1
				<ul style="list-style-type: none"> サステナビリティ保証に関する 実務論点 ① 受嘱と計画 ② リスク評価手続／重要な虚偽 表示リスクへの対応 ③ 意見・保証報告 ④ グループ保証及びバリュー チェーン情報の保証 ⑤ 財務諸表監査とサステナビ リティ情報の保証業務の連携 	Ad4-2-2 ～ Ad4-2-6
				<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス (GHG) 排出量の保 証業務のプロセス及び留意点 GHG 情報の保証に関する専門家 の利用 	Ad4-4-1

※2 Ad4-1-1 は 2 研修あり、いずれか 1 つを選んで受講する。

③ アドバンスコース

教材コード	講座名	GPD 単位	講師	概要	シラバス コード
後日配信	サステナブルファイナンス ～最新の政策動向、ファイ ナンス手法及び開示情報の 利活用を知る～	2.0	水口 剛 (高崎経済大学)	<ul style="list-style-type: none"> サステナブルファイナンスに係る国内外の動向 サステナビリティ関連の投融資の類型と各アプローチ 資本市場・債券市場におけるニーズ 	Ad2
E062080	生物多様性と情報開示～最 新の政策動向と科学的知見 から紐解く自然資本関連の リスクと機会～	1.5	永田 綾 (環境省) 橋本 務太 (世界自然保護基金 (WWF) ジャパン) 高村 ゆかり (東京大学) 森 洋一 (日本公認会計士協会)	<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性に係る政策動向 生物多様性、生態系に係る科学的知見と課題 	Ad3-3
2026年秋頃までを目途に順次実施予定				<ul style="list-style-type: none"> 生物多様性等に関する主要な開示フレームワーク 開示実務の動向 	Ad3-3
				<ul style="list-style-type: none"> 海外における人的資本に関する開示規則等の動向 海外における開示実務の動向 	Ad3-4
				<ul style="list-style-type: none"> 我が国における人的資本に関する制度の見直しとその背景 	Ad3-4
				<ul style="list-style-type: none"> 人権に関する国際的な議論と、企業に与える影響 人権に関する開示情報 	Ad3-5
				<ul style="list-style-type: none"> 欧州企業サステナビリティ報告指令 (CSRD) 及び欧州サステナビリティ報告基準 (ESRS) の解説 	Ad3-6
				<ul style="list-style-type: none"> その他のサステナビリティ・テーマ (気候変動、生物多様性並びに人的資本及び人権以外) に関する政策等の動向 	Ad3-6
				<ul style="list-style-type: none"> マテリアリティ・プロセスへの対応 将来予測情報 	Ad4-3
				<ul style="list-style-type: none"> 人的資本情報及び人権情報の保証業務のプロセス及び論点 	Ad4-4-2